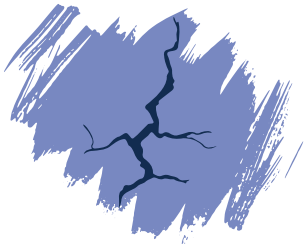
鉛のいろいろな発生源：

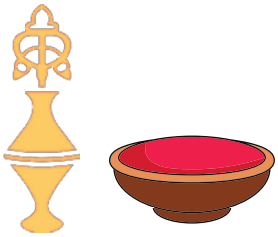
お住まいの家の中や周りに鉛がありませんか？

鉛は目に見えませんが、家の内外の多くの場所に存在する可能性があります。鉛は危険であり、特に子どもに有害です。鉛中毒は、鉛を飲み込んだり吸い込んだりすることで起こります。鉛中毒のあるほとんどの子供は、体調が悪そうには見えません。

以下のものには、鉛が含まれる可能性があります：



古びた剥がれかけのペンキ

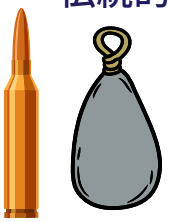


コール、スルマ、シンドゥールのような伝統的な化粧品

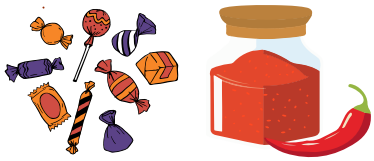
家のほこり

アサルコン、グレタ、ペイルーアのような民間薬

むき出しの土



弾丸、釣り用のおもり

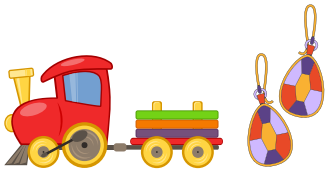


外国製の一部の食品、キャンディー、スパイス

一部の食器や鍋

鉛を扱う方の髪、皮膚、靴、衣服

空港や工業地帯の周辺の大気汚染



一部のおもちゃやジュエリー

お子さんがこれらの物に近づかないようにし、鉛の検査について医師にご相談ください。お子さんに鉛中毒があるかどうかを知る唯一の方法は、鉛の血液検査を受けることです。ほとんどの子どもは1歳と2歳のときに検査を受けますが、2歳を過ぎても検査が必要な場合があります。

CDPH
California Department of Public Health

go.cdph.ca.gov/LeadFreeKids

For agency use:
Place contact information here

2024年8月 · © 2024, California Department of Public Health